

Call for Papers

第 14 回応用計量経済学コンファレンス

このたび、大阪大学・東京大学・一橋大学では、ミクロ計量経済学をフレームワークとして研究している大学院生ならびに若手研究者を集め、ワークショップ形式のコンファレンスを開催いたします。比較的少人数の大学院生・研究者が合宿形式で意見を密に交わすことで、ミクロ計量経済学的手法を用いた研究を奨励することが目的です。これまで以下のような方々に討論をお願いしてきました。

討論予定者(敬称略) : 市村英彦、大竹文雄、川口大司、神林龍、北村行伸、佐々木勝、大橋弘、渡辺努、山口慎太郎、安藤直人、田中隆一、岡田羊祐、田中万理、菊地信義、坂本和靖など

皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

日付： 2019年11月8日(金)

場所： 大阪大学豊中キャンパス 文法経講義棟 32 番教室

募集分野： マイクロデータを用いた実証分析であれば分野は問いません。労働経済学、産業組織論、開発経済学、公共経済学、消費と投資、その他どんな分野でも可です。合計 7～8本の論文の募集を予定しています。

募集対象： 大学院生、ポスドク・研究員などフルタイムではない研究者 旅費・宿泊費は支給します。

討論形式： 発表者25分程度、討論者10分程度、全員でのディスカッションを15分程度予定しております。各論文の討論者は組織委員会で決定いたします。英語による報告も可能です。(Presenting in English is welcome.)

応募： 締め切り**2019年9月2日(月)**

氏名、所属、連絡先、報告タイトルを本文に記し、発表論文をpdfファイルで添付したメールを事務局宛お送り下さい。件名に「応用計量経済学コンファレンス応募論文」とお書きください。報告論文にはJEL Classificationを忘れずに付して下さい。応募者多数の場合、選考によって不採択となる可能性があります。2019年9月28日(金)までに参加者およびプログラムを決定し、参加者には、メール等を通じてご案内いたします。

組織委員会： 市村英彦、大竹文雄、川口大司、神林龍、北村行伸、西脇雅人、佐々木勝

事務局： 大竹研究室 (中井 : nakai-mi@econ.osaka-u.ac.jp)

企画、内容に関するお問い合わせは佐々木(sasaki@econ.osaka-u.ac.jp)までご連絡下さい。